

平成 2 1 事業年度

決 算 報 告 書

国立大学法人佐賀大学

(様式2)

平成21年度 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	10,986	10,874	△112	(注1)
施設整備費補助金	728	948	220	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	1,474	1,474	(注3)
国立大学財務・経営センタ 一施設費交付金	54	54	—	
自己収入	16,521	17,555	1,034	
授業料、入学料及び検 料収入	4,215	4,187	△28	(注4)
附属病院収入	12,119	13,156	1,037	(注5)
財産処分収入	38	38	0	
雑収入	149	172	23	(注6)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1,088	1,362	274	(注7)
引当金取崩	60	49	△11	(注8)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	81	78	△3	(注9)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,833	2,725	892	(注10)
計	31,351	35,122	3,771	
支出				
業務費	25,792	27,321	1,529	(注11)
教育研究経費	12,365	12,317	△48	
診療経費	13,427	15,003	1,576	
一般管理費	2,836	3,019	183	(注12)
施設整備費	782	1,002	220	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	1,474	1,474	(注14)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1,088	1,177	89	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	853	844	△9	(注16)
国立大学財務・経営センタ 一施設費納付金	—	18	18	(注17)
計	31,351	34,857	3,506	
収入－支出	—	264	264	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の支給者減や社会人教育支援の減免措置による減などにより、予算金額に比して決算金額が112百万円少額となっております。
- (注2) 予算金額については、728百万円と計上していましたが、補正予算措置により決算金額は948百万円となっております。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して1,474百万円決算金額が多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、社会人教育支援による減免措置の増加及び緊急対応による授業料減免特例措置の増加並びに授業料徴収対象在籍者増加等により授業料収入が減少したこと、入学志願者の減による検定料収入の減少したこと等の理由により予算金額に比して決算金額が1,034百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、医療体制充実・強化などに伴う診療報酬単価の増により増収となったことから、予算金額に比して決算金額が1,037百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として不用物品売払い代の増加、土地売却に係る補償費工事費用により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究・事業の獲得に努めたことなどにより予算金額に比して決算金額が274百万円多額となっております。
- (注8) 任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっております。
- (注9) 医療訴訟に伴う賠償費用が減少したことにより、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっております。
- (注10) 目的積立金での執行を予定していた事業について執行を行ったため、予算金額に比して892百万円決算金額が多額となっております。
- (注11) 附属病院における手術件数増に伴う材料等の購入増、設備整備計画の前倒しに伴う費用増、また、目的積立金での執行を予定していた事業について計画の見直しを行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が1,529百万円多額となっております。
- (注12) 目的積立金の執行を予定していた事業について計画の見直しを行ったこと。また、再雇用者による任用計画の見直しなどで人件費が増加したこと等により、予算金額に比して決算金額が183百万円多額となっております。
- (注13) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が220百万円多額となっております。
- (注14) (注3) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,474百万円多額となっております。
- (注15) (注7) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が89百万円多額となっております。
- (注16) 貸付利率の変更に伴い、予算金額に比して決算金額が9百万円少額となっております。
- (注17) 財産の処分に伴い国立大学財務・経営センターへの納付金が発生したため18百万円多額となっております。